



京都府立医科大学大学院医学研究科 博士課程 がんプロフェッショナル養成専門コース

学科横断的な教育とがん研究指導を実施します！

が がんプロ

令和3年度入学大学院生募集

【がんプロフェッショナル養成専門コース（通称「がんプロ」）の特徴】

本コースは、下記の4コースより構成されており、主に各診療科の基盤学会の認定医、あるいは専門医を取得した医師を対象として、学科横断的な教育とがん研究指導を実施します。また、このような教育指導によって集学的治療におけるチーム医療者の養成を図ります。

※コースの詳細については、チラシ裏面をご覧ください。

【募集人数】

- 腫瘍専門医育成コース 4名
- 小児・AYA世代がん専門医育成コース 2名
- 緩和ケア専門医育成コース 2名
- 放射線治療専門医育成プログラム・コース 1名

【試験日程】

<前期>

出願期間：令和2年8月31日（月）～9月11日（金）

入学試験日：令和2年10月16日（金）

合格発表：令和2年11月13日（金）

<後期>

出願期間：令和2年11月30日（月）～12月11日（金）

入学試験日：令和3年1月12日（火）

合格発表：令和3年2月10日（水）

【問い合わせ先】

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路 上る梶井町465番地 京都府立医科大学 学生課大学院担当
TEL(075)251-5227(直通)メールアドレス:gkyoumu@koto.kpu-m.ac.jp

腫瘍専門医育成コース

日本臨床腫瘍学会ががん薬物療法専門医の取得を目指します。各科がん医療に関する基礎的な知識を系統講義やセミナーで学習し、主要科をローテートし実臨床における診療を学習することを目的としています。また研究についてはがんプロ以外の所属診療科において自由に行っていただくことが可能です。

小児・AYA世代がん専門医育成コース

小児血液・がん専門医、血液専門医、がん治療認定医、泌尿器科専門医、がん薬物療法医などの取得を目指します。小児・AYA世代がんに対し、こどもの将来を見据えた集学的治療が実践できるようになることはもちろんのこと、基礎研究や生物統計の習得により、小児がん治療のリーダーシップとして新規治療開発が提案できるよう指導します。

放射線診断治療専門医育成プログラム・コース

がん臨床とがん研究との教育指導の両者をバランスよく学び、学位と放射線治療専門医資格の取得を目指します。臨床研修:年間600例以上の新規放射線治療患者があり、研修に十分な症例数です。また、高精度放射線治療を中心とした放射線腫瘍学のみならず、分子生物学を中心とした幅広い腫瘍学の知識を学べます。

緩和ケア専門医育成コース

本学附属病院疼痛緩和医療部と連携を取り、実践的な能力を持つ日本緩和医療学会専門医の取得を目指します。腫瘍医療にかかわる全科の協力のもと高い能力を有する緩和医療専門医の育成に欠かせない全科的実践的系統講義を行います。希望者は腫瘍関連各科へのローテート、緩和ケアチームや在宅緩和ケアへの参加なども実施しています。